

### NO3

#### 旧憲兵隊の被爆塀

所在地は津市阿漕町（JR阿漕駅前ロータリー）



県内の空襲による犠牲者は4000人といわれています。そのなかで、津市の死者数は2500余人を数えます。

とくに1945年7月24日、住宅密集地への無差別爆撃では、街が壊滅し約1300人の方々が犠牲となりました。

その空襲のすさまじさを、このコンクリート塀の弾痕が物語っています。

これは空襲の際、爆弾片が貫通してできた痕で、直径9センチほどの穴になっています。この塀は今年4月まで近くの私有地にありましたが、とり壊しの話が出てきました。

津の空襲を今に伝え、平和の尊さを訴える碑にしようと、「津平和のための戦争展実行委員会」が中心となり、当時、約60人の市民が爆死したこの阿漕駅前に移築されました。

20050715 掲載